

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ **2年目** ・ 3年目)

法人名 社会福祉法人 千寿会
施設名 ケアハウス千寿の里西小田
施設の種別 特定施設入居者生活介護(軽費老人ホーム)

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
9 見守り・コミュニケーション支援機器(コミュニケーション型)	富士ソフト株式会社	PALRO(パルロ)
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 2 月 9 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

余暇活動の一環として、体操やレクリエーション(特に午後の時間帯)に活用している。
スタッフが間に入り、コミュニケーションツールとして使用している。

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

スタッフとともにレクリエーションを行う際に、補助的な役割を担ってくれる為、負担の軽減に繋がっている。
余暇活動の一環として、体操やレクリエーションを行うことで入居者のADLやQOLの維持に繋がっている。
コミュニケーションツールとして使用し、スタッフの精神的負担の軽減になっている。

【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

スタッフの人数が少ない時もPALROが体操やレクリエーションの補助をしてくれることによって、身体的・精神的負担の軽減になっている。
入居者から日課として体操が出来るようになり、満足しているとの声が聞かれるようになった。

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

難聴の入居者には声や音が聞こえにくい為、音量を調節出来ると良い。

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ 2年目 ・ 3年目)

法人名 社会福祉法人 井ノ口会
施設名 あんずの里
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
見守り・コミュニケーション支援機器(コミュニケーション型)	GROOVE X 株式会社	LOVOT 2.0 ソロ
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 11 月 25 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】
※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・ユニットのリビングに設置し、毎日9時～17時の間に稼働させフロアを自由に移動させ、リビングや周辺の食堂等に集う高齢者とコミュニケーションを図った。
- ・これまでTVを観て過ごしていたティータイムや午後の空き時間に、卓上テーブルに据え置き、会話等のコミュニケーションが多数の高齢者とできる機会を、週3～4回設けた。

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】
※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・自立度の高い高齢者においては、導入以降、毎日コミュニケーションを持っていただき、活動性を維持・向上することができた。

【介護ロボットの導入効果】
※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・声をかけたり触れあうことで、笑顔や穏やかな表情が多々みられるようになったり、居室に引きこもりがちであった方々も、リビングに集まっては歌を歌い、手足を動かすなど、入所者の方から好評を得ている。
- ・LOVOTの存在により、施設全体に明るい雰囲気を感じられるようになった。

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】
※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・充電を含め動作を自立して行うため、使用者の意図した通りの行動ができなかったり、持ち運んで長時間使用している途中で電池切れとなることがあり、今後もより良い使用方法を継続して模索していく必要がある。

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ 2年目 ・ 3年目)

法人名 医療法人義恵会
施設名 デイサービス ふらっとひる
施設の種別 通所介護

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	富士ソフト株式会社	PALRO
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 12 月 22 日	令和 4 年 12 月 22 日から 令和 7 年 12 月 21 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・認知症利用者の周辺症状等が見られ時に使用
- ・空いた時間に利用者へのコミュニケーションツールとして使用

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・コロナ禍で、レクリエーション内容に制限をせざる負えない状況であったが、パルロを導入することで、利用者に新しい試みを提供できたことと、ロボットの多彩なバリエーションが、利用者の注目度アップにも繋がっている。
- ・利用者が自分からパルロに近づき、笑顔で話しかける積極性が出てきた。
- ・パルロを導入して3か月経過したが、まだ使いこなせていない現状であるため、状況に応じた使用をしていく。

【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・パルロを介して利用者が積極的に話かけるようになったことで、笑顔が多く見られるようになり会話の機会が増えた。
- ・利用者職員を繋ぐ会話のきっかけになっている。

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・充電が早く切れてしまうため、常時コンセントと繋いでおく必要がある。そのために使用が制限されること
- ・パルロの声が小さく耳の遠い人は聞き取りにくい